

主催：日本産科婦人科学会・日本小児科学会・子宮頸がん征圧をめざす専門家会議

後援：日本婦人科腫瘍学会

「子宮頸がん啓発のための市民公開講座—子宮頸がんを予防しましょう！」

女性のからだのこと、あなたはちゃんと知っていますか？がん検診を受けていますか？20代から30代、40代にかけて、女性として最も輝いているこの時期、自分は「がん」とは関係がないと思っていますか。実は、子宮頸がんは20-40歳代の若い女性に最も多いがんであり、最近、増加傾向にあります。子宮頸がん検診をきちんと受ければ、早期がんはもちろん、がんに進行する前の状態が診断できます。その後の妊娠・分娩も可能です。さらに、子宮頸がんの原因であるヒトパピローマウイルス（HPV）予防ワクチンが開発されました。日本でも承認され、その使用も間近のこととなりました。

この市民公開講座に参加し、子宮頸がんの予防や検診、ワクチンについて、専門医のお話を聞いて正しい知識を身につけましょう。

日時：平成21年11月22日（日）14：00～16：00

場所：『女性と仕事の未来館 ホール（249席）』

JR 田町駅徒歩3分、都営三田線、浅草線三田駅徒歩1分

参加費用 無料

挨拶 14：00-14：10

（社）日本産科婦人科学会 理事長 吉村泰典

（社）日本小児科学会 会長 横田俊平

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議 議長 野田起一郎

講演

パート1 14：10-14：50 座長 京都大学 婦人科学産科学教授 小西郁生

1. 子宮頸がんとは？ 発生状況、原因と症状・治療法

筑波大学産婦人科学教授 吉川裕之

2. 子宮頸がん検診とは？ 検診の方法と意義、発見される病変

自治医科大学産婦人科学教授 鈴木光明

パート2 14：50-15：30 座長 防衛医科大学 小児科学教授 野々山恵章

3. 予防接種の基礎知識—ワクチンで予防できる病気

国立感染症研究所感染症情報センター長 岡部信彦

4. 子宮頸がん予防のためのHPVワクチン

自治医科大学附属さいたま医療センター産婦人科教授 今野 良

（休憩 15：30-15：40）

質疑応答 15：40-16：00 司会 小西郁生、野々山恵章

***ご出席の場合は、下記メールアドレス宛にお申し込み下さい。**

nissanfu@jsog.or.jp